

『平塚市史 年表』 第1版

平塚の歴史を調べるための基本的な年表です。

平塚市史の記載を年代から探すための索引機能を持たせています。

平塚市史に記載のない項目についても“歴史の流れ”をつかむために追加しています。参考資料として12篇のコラムを収録しています。

相模国府／“もろこしがはら”と“なでしこ”／平塚市域の武士団 系図／鎌倉殿と平塚の八人／源頼朝をめぐる人々 系図／西暦と年号（異なる年号が同時に使用された時期）／相模の戦国／相模の戦国 足利氏と上杉氏 系図／徳川家康と中原御殿／平塚市域の遺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）／平塚市域の寺院／平塚市域の町村合併

平塚市史 年表

第1版

2025
平塚市博物館

◇ 承安年間 1179 治承3年 1180 治承4年		相模国府は一時公領となったが、また荘園となった《1-17》	9	46
		平清盛が後白河院政を停止し実権を掌握	4	9
		以仁王が平氏追討の令旨を宛し源頼朝とともに挙兵	4	27
		伊豆郡山に配流されていた源頼朝のもとに平家打倒の以仁王の令旨が届けられる	5	26
		以仁王・源頼朝政死	8	17
		治承・寿永の乱勃発 源頼朝が挙兵し伊豆目代山本兼隆を襲撃	8	23
		石橋山合戦	10	6
		佐奈田と一義忠と関山文三が安が討死	10	16
		岡崎義実・豊田兼俊・上屋宗清・上屋忠光が参陣	10	17
		源頼朝が相模に入国し鎌倉を本拠とする	10	20
		源頼朝が相模国府六所神社に遷む	10	23
		源頼朝が波多野義常に向け軍を宛したが義常は自殺する	10	26
		富上川の戦い	10	27
		源頼朝が相模国府(余綾)で論功行賞	9	49
		義澄が二浦介に任命される《1-195》	9	55
		大庭景親が国瀬川辺で斬られる	13	下
		源頼朝により柳下郷(小田原市)が密蔵院に寄進される『密蔵院寺領目録』《1-71》	10	331
		平清盛没	10	640
		二浦義澄が頼朝を迎え境敵を戦じる	10	641
		岡崎義実が頼朝より拜領の水平をめぐって上総広常と喧嘩	10	658
		日光山大業院弘宣寺(土屋)再建『寺院所有物明細帳』	10	675
		伊東祐親自決	10	681
		源頼朝生まれる	10	681
		源頼朝の下文(光明寺文書《1-13》)	10	693
		木曾義仲人京し征夷人海軍を拝命	10	700
		木曾義仲滅亡	10	700
		八幡神社(下吉沢)南方の不動明王像が上沢村に戻る(松岩寺に安置)	10	700
		内務大臣が神奈川県に対し平塚市制施行に関する諮問を行う	10	700
		神奈川県参事会が平塚市制に関する内務大臣諮問を可決、答申する	10	700
		平塚市制が4月1日より施行されることが官報で告示される	10	700
		満州国建国	10	700
		平塚町で灯火管制防空演習が行われる(市域で最も早い)	10	700
		平塚町が市制を施行し教育委員会を創設し中部教育会から分離	10	700
		平塚市が市制を施行	10	700
		平塚市制施行により鈴木清寿が平塚市長臨時代理となる	10	700
		平塚市議選挙	10	700
		五・一五事件が起きる 犬養毅首相が暗殺される	10	700